

加工用ダイコン「秋田いぶりむすめ」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

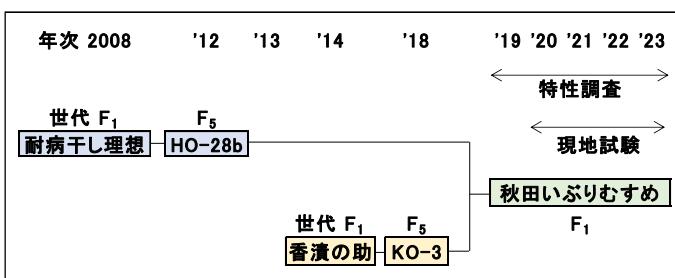
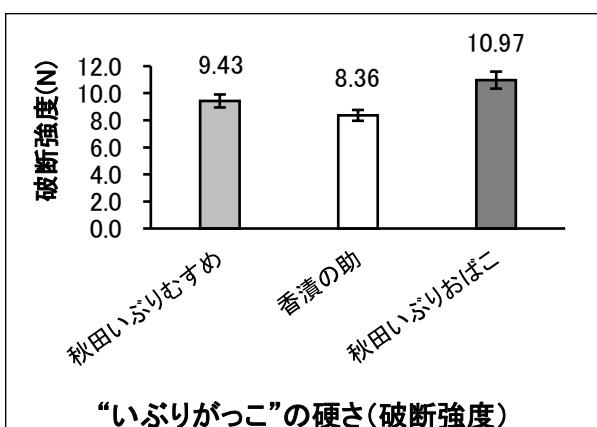
本県を代表する特産品「いぶりがっこ」のブランド力を強化するため、栽培しやすく、消費者の嗜好の変化にマッチした肉質を持つ加工用ダイコン品種を育成しました。

2 品種の特性・セールスポイント

- ① 収穫日数は8月下旬播種で65日前後で、主流品種である「香漬の助」よりも肥大が緩やかなため収穫遅れによるロスが少ないです。
- ② ダイコンの形は針形、最大根径は6cm程度で、空洞症、曲根、裂根の発生率が極めて少ないため歩留まりに優れ、抜き取りやすく機械収穫にも適しています。
- ③ “いぶりがっこ”に加工した後の硬さは、軟らかい「香漬の助」と硬い「秋田いぶりおばこ」の中間で、幅広い消費者に受け入れられる適度な硬さです。

3 育成経過

民間品種「香漬の助」から選抜した軟らかい系統(KO-3)と、民間品種「耐病干し理想」から選抜したやや硬い系統(HO-28b)をかけ合わせて育成したF₁品種です。



4 普及計画

現在、種苗を増殖中で、令和9年から種子を販売する予定です。